

あおもり

防災

チャレンジ



令和6年度青森県地震・津波避難訓練

～あおもり防災ウィーク～

参加登録情報及びアンケート集計結果報告書

▶ 参加登録について

登録フォーム解放期間 令和6年10月1日(火)～11月24日(日)

<登録フォーム(1/2)>

あおもり防災チャレンジ「チャレンジ宣言」登録フォーム

「あおもり防災チャレンジ」に参加予定の方は、下記項目の入力をお願いします。
お預かりした情報は、参加状況の把握以外に使用することはありません。

参加形態 必須

- 個人(家族を含む)
- 団体

団体の場合 任意

- グループ(知人・友人など)
- グループ(NPO・自主防災組織・自治会など)
- 学校(保育園・幼稚園を含む)
- 企業
- 行政
- その他

団体(グループ名) 任意

団体(グループ名)ふりがな 任意

メッセージ 任意

メッセージ記載例

- 当社では、11月15日(金)のシェイクアウト訓練に参加します。職員の掛け声でお客様と一緒に実施する予定です。
- 当施設では、11月15日(金)に洪水土砂災害や津波ハザードマップと備蓄品の確認を行います。
- XX町の自主防災組織では、11月5日(火)に防災訓練を実施します。ハザードマップと避難経路の確認も行う予定です。
- 当自主防災組織では、あおもり防災ウィーク期間中にまち歩きを行い、避難経路上の危険箇所の確認を実施します。
- 当消防団では、XX市が実施する避難訓練にて、避難所開設訓練を実施します。
- 11月17日(日)に、家族全員で備蓄品の確認を行います。
- 当社では11月15日(金)のシェイクアウト訓練に併せて、緊急時連絡体制の確認も実施します。
- 当町(村・機関)では、あおもり防災ウィーク期間中に、業務継続計画(BCP)の遂行訓練を実施します。
- 我が家(当園)では、11月15日(金)に避難場所と避難経路の確認を行います。
- 本校はXX町が実施する避難訓練に参加する予定です。
- 我が家では、通電火災の対策(感震ブレーカー設置など)について話し合います。

<登録フォーム(2/2)>

団体名(グループ名)、メッセージ公開の可否 **必須**

「個人」を選択された方は「公開不可」を選択してください。

公開可

公開不可

参加人数 **必須** 人所在(居住)市町村 **任意**選択してください ▾参加予定日 **任意**

11月15日

11月15日以外の「あおり防災ウィーク(11月5日～11月24日)」期間中

上記以外の日

参加予定日付指定 **任意**実施予定の取組(複数選択可) **任意**

「シェイクアウト訓練」の実施

洪水・土砂災害や津波ハザードマップの確認

避難場所・避難経路の確認

避難経路上の危険箇所の確認

避難所開設訓練

備蓄物資の確認

緊急時連絡体制の確認

業務継続計画(BCP)遂行訓練

その他(自由記述)

「その他」を選択した場合にご入力ください **任意**回答者メールアドレス **必須**

info@example.com

確認用

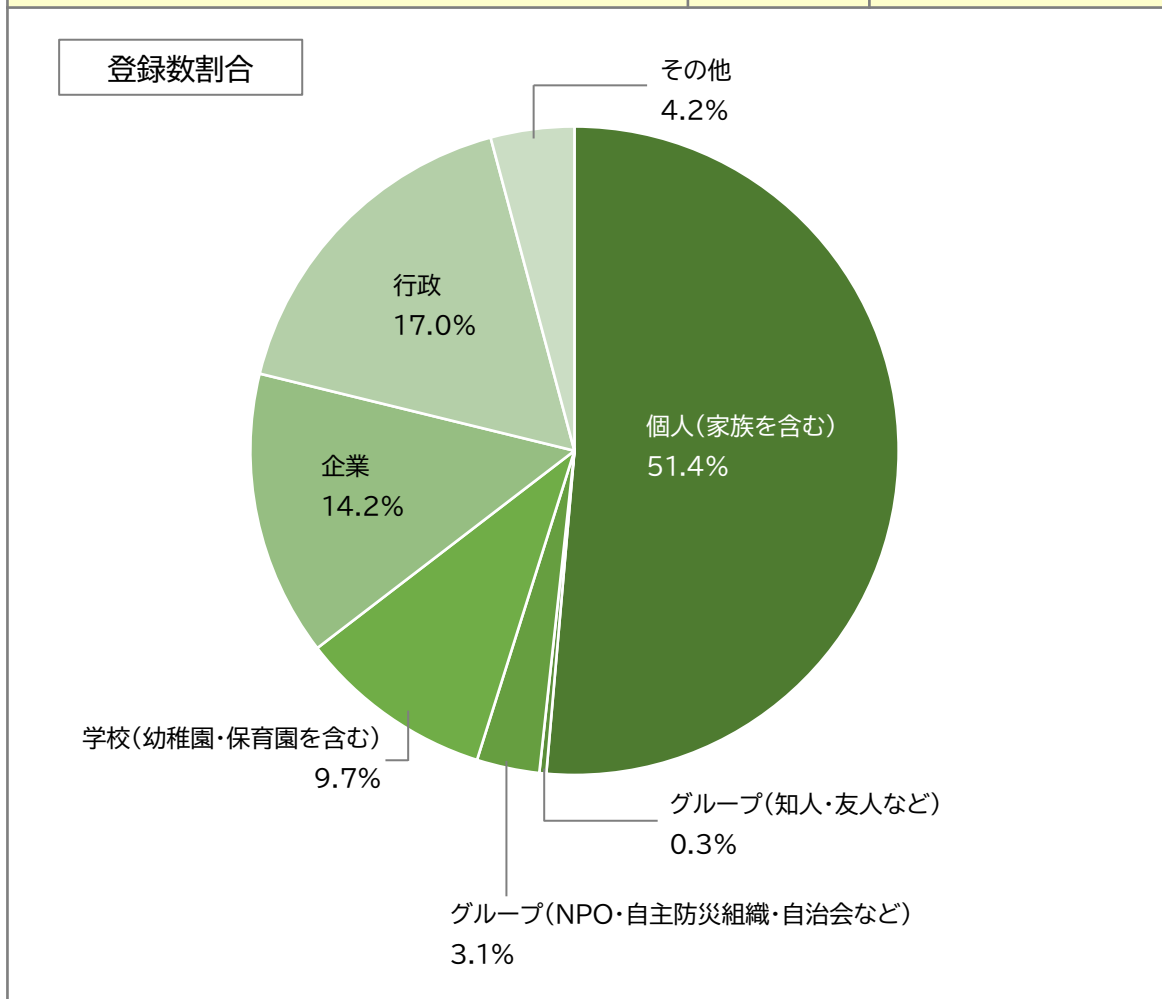
※訓練終了後に参加者アンケートを送付させていただく場合があります。

確認画面へ

▶ 参加登録集計結果

(1) 参加形態別

| 参加形態 | 登録数 | 参加人数(人) |
|------------------------|-----|---------|
| 個人(家族を含む) | 148 | 272 |
| グループ(知人・友人など) | 1 | 3 |
| グループ(NPO・自主防災組織・自治会など) | 9 | 171 |
| 学校(幼稚園・保育園を含む) | 28 | 3,422 |
| 企業 | 41 | 1,203 |
| 行政 | 49 | 3,223 |
| その他 | 12 | 2,299 |
| 合計 | 288 | 10,593 |



(2)市町村別

| 市町村 | 参加人数 (人) | 市町村 | 参加人数 (人) | 市町村 | 参加人数 (人) |
|-------|-------------|------|-------------|-------|-------------|
| 青森市 | 4,792 | 平内町 | 63 | おいらせ町 | 6 |
| 弘前市 | 551 | 鱒ヶ沢町 | 81 | 大間町 | 1 |
| 八戸市 | 744 | 藤崎町 | 2 | 東通村 | 20 |
| 黒石市 | 41 | 田舎館村 | 1 | 三戸町 | 187 |
| 五所川原市 | 106 | 板柳町 | 29 | 五戸町 | 98 |
| 十和田市 | 658 | 鶴田町 | 5 | 田子町 | 5 |
| 三沢市 | 330 | 中泊町 | 314 | 南部町 | 2 |
| むつ市 | 1,106 | 六戸町 | 17 | 階上町 | 853 |
| つがる市 | 9 | 東北町 | 29 | 東京都 | 21 |
| 平川市 | 402 | 六ヶ所村 | 85 | 不明 | 35 |
| | | | | 合計 | 10,593 |

(3)メッセージ

【個人・家族】

- ・防災ウィーク期間中、備蓄品と非常時持ち出し品のチェックを行います。
- ・いつ、どんな災害が発生するかわかりませんが、被害が小さくなるように、日頃から一人ひとりが気をつけていることが大切だと思います。
- ・家の備蓄食料と水を、あおり防災ウィーク期間中に買い足します。
- ・我が家では11月16日（土）にローリングストック用の古い備蓄食料を食べて、新しい備蓄食料を購入します。
- ・娘とシェイクアウト訓練、津波避難訓練を行います。
- ・はじめてのシェイクアウト訓練！やってみます！
- ・11月15日（金）に避難場所と避難経路の確認を行います。
- ・11月15日に家族全員で備蓄品の確認を行います。
- ・11月9日に避難時の持ち出し袋の内容再確認、食料備蓄の確認、ハザードマップ及び避難経路の確認を実施します。
- ・緊張感を持って参加します。
- ・10月いくつかの防災講義を受講。備蓄用品を揃えたり、避難所・避難場所まで何分かかるか確認してきました。あとは15日の訓練でどこまでスムーズに出来るか確認したいと思います。
- ・日頃の備えを家族とともに行います。
- ・11月23、24日に家にある防災グッズや備蓄品の確認をします！
- ・シェイクアウト訓練に参加します。「明日は我が身」このことを肝に銘じ、防災力の向上に邁進します。
- ・ハザードマップのチェックと備蓄物資のチェックを行います。
- ・我が家ではペットの愛犬の非常持ち出し備品を再確認します。またペット同伴避難が困難なときのために、車内泊できるように準備します。
- ・これを機会に自宅で備蓄している物品を点検し、「シェイクアウト訓練」で安全確保行動を再確認します。
- ・勤務先の調理室でシェイクアウト訓練をしたいのと、自宅の備蓄品などを確認します。
- ・自主防衛組織をなんとかしたい。
- ・子どもたちと100均グッズで防災ポーチを作ります。
- ・11月15日の防災ウィーク、災害発生した場合でもうろたえることの無い様、日頃の準備の一環として頑張ります。
- ・幸いにも、大きな災害の発生が少ない弘前市に住んでいるからこそ、気を引き締め備蓄品の確認、シェイクアウトにチャレンジします。
- ・11月15日に備蓄品と非常持出品の確認を行います。
- ・実際に発生する災害では無いので、どれだけ危機感を感じてくれるかですね。3.11の時に消防団として、避難を呼びかけた者としての思いです。当時、避難しなかった人に聞いたら、湾内に津波が来るわけないと言われました。夜中にかなり引けていたのですが、それが夜中だったので、なおさら危機感を感じなかったかもですね。
- ・我が家では障害者がいるので避難方法を再考します。
- ・年配の母と暮らしているので、防災について話し合い、その時の行動について確認します。
- ・県内他市に出かけているので、防災マップ、避難所などを確認しておきます。
- ・11月15日(金)のシェイクアウト訓練に仕事場で参加します。
- ・地域災害医療コーディネーターです。いっしょにがんばりましょう。

(次ページへ続く)

- ・我が家の避難場所を確認します。
- ・避難所までの避難ルートを確認します。
- ・シェイクアウト訓練、確認訓練に参加。安全確認行動を再確認し、ハザードマップの確認、避難場所、経路の再確認をした。備蓄物品チェックリストを参考に、不足している物品を追加する。

【グループ(知人・友人など)】

- ・11月16日(土)に、私たちは備蓄物資に不足がないか確認を兼ね、自宅のブレーカーを落として一日停電生活を実践します。

【グループ(NPO・自主防災組織・自治会など)】

- ・川内小中学校防災訓練への指導、協力。
- ・11月17日(日)に、それぞれの自宅での避難場所・避難経路・備蓄物資の確認するとともに、発災時の心構えを話し合い、防災・減災に努めます。
- ・「あおり防災ウイーク」期間中に住民を対象に「防災関連アンケート」を実施します。その結果をもって学習会を計画するなど、町内防災体制整備への参考とします。またアンケートが「青森防災チャレンジ」に参画して行うものだと、回覧で周知します。
- ・一斉メールにより、緊急時の連絡体制の確認を行います。また、チーム及び各会員の装備品の点検を行います。
- ・11月23日に、県が実施する令和6年度防災士派遣制度を活用し、地域指定の避難所の設営や運営に必要なマニュアル作成に係る研修会を開催し、災害発生時の公助による継続的な避難所運営までをつなぐ自助・共助による避難所設営・運営体制の確立を目指します。
- ・11月10日(日)に防災士による防災講話を行い、地震に対する家具類の転倒・落下防止等について学ぶ予定です。
- ・11月23日、青森市主催の「自主防災体験研修会」に参加し、避難所運営に関する講義・演習を行います。
- ・11月15日9時に役員13名で、防災機器の作動点検や防災備蓄品の点検作業を行います。

【学校(幼稚園・保育園を含む)】

- ・11月15日(金)に洪水土砂災害や津波ハザードマップと備蓄品の確認を行い、全職員に周知します。
- ・11月15日(金)のシェイクアウト訓練に参加します。
- ・11月15日(金)避難訓練を実施し、避難場所、避難経路の確認、保護者への連絡方法の手順を再確認します！
- ・8:10に地震に係る避難訓練を行います。一次避難として机の下に避難し、頭を守り、机の足をつかんで落下物に対応するなどして身を守ります。訓練終了後、避難訓練を振り返り防災意識を高めます。
- ・11月15日(金)のシェイクアウト訓練に参加します。授業時間内となるため、生徒にも声をかけて実施する予定です。
- ・大きな災害がきても大丈夫なように危険箇所の確認をしていく。
- ・11月15日(金)9:00に合わせて、地震発生時の安全確保行動をとる訓練を行います。
- ・15日のシェイクアウト訓練に参加します。全国一斉避難訓練時の反省をいかしながら職員、園児で訓練に参加したいと思います。同時に緊急連絡方法、避難場所、備蓄品の確認も行います。

(次ページへ続く)

- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。職員の掛け声で生徒、教職員および来校者と全校一斉に実施する予定です。
- ・11月15日(金)にシェイクアウト訓練（全校一斉）に参加する予定です。
- ・七五三の日のため、七五三詣りの行事を計画していますが、神社への出発時間まで多少の余裕があるため、シェイクアウト訓練に参加します。
- ・当日、町の防災無線に合わせて、全校児童・全教職員がシェイクアウト訓練に参加します。
- ・1年生3名、専攻科7名にて避難経路の確認を致します。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に併せて、写真で危険探し授業も今月各学級で実施します。
- ・「DROP！COVER！HOLDON！」を1分間実施します。
- ・「あおり防災ウィーク」の期間内に、本校で作成した『避難所運営マニュアル』の点検、防災備蓄品の点検を行います。
- ・学校で3回取り組む計画でしたので、そのうちの1回を防災チャレンジに合わせました。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。職員の掛け声で児童と一緒に実施する予定です。
- ・全校で放送に合わせて机の下に隠れる訓練を実施する予定です。
- ・職員の掛け声で園児とともに実施する予定です。

【企業】

- ・防災ウィーク期間中に緊急連絡体制運用の確認実施、並びに災害情報の収集方法の確認・避難経路確認を実施いたします。
- ・「地域を守る 地域を創る」という業務方針の下、これからも「県民の命を守る放送の拠点づくり」を進めていきます。そして、県民の防災意識高揚に向けた取り組みを、県とともに進めていきたいと思っております。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。八戸市で開催する講習会を受講する約100名の参加のもと実施する予定です。
- ・関係団体で組織する防災対策委員会で防災訓練を実施します。
- ・11月15日(金)のシェイクアウト訓練に参加します。訓練後、所員全員で緊急時連絡体制の再確認も行います。
- ・地域に暮らす人々の命を守るため、防災・減災に貢献できるよう様々な取り組みを行っております。例えば、本年度20刊となる防災ハンドブックは、市町村、地域のコミュニティなどに約5万部配布し、青森県民の防災意識向上に役立てたいと思っております。これからも迅速、的確で、わかりやすい情報発信を心がけ、災害に遭遇したときでも命を守れるよう心がけたいと思っております。
- ・11月6日（水）に施設内の地震や水害を想定した防災訓練を行います。地震発生時や水害（内水氾濫など）時の職員の対応手順の確認、非常食の取り扱いの確認などを行うほか、防災士の講話を予定しています。
- ・弊社は、11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加する予定です。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練の実施にあわせて、避難場所や避難経路、非常放送の操作方法など、緊急時対応マニュアルの再確認を行います。
- ・当社では、11月15日（金）午前9時の防災行政無線・緊急速報メール訓練のタイミングで、従業員の安否確認システムの送受信確認を実施する予定です。
- ・11/13に町内中学校にて防災学習会を実施し地域で防災意識向上を図ります。11/15のシェイクアウト訓練に職員と本会が入る老人福祉センター利用者が参加いたします。

(次ページへ続く)

- ・当社では、11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。合わせて業務継続計画（BCP）の見直しを行います。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。あおり防災ウィーク期間中全事業所において、洪水土砂災害や津波ハザードマップと避難場所、避難経路、備蓄品の確認を行います。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。職員の掛け声でお客様と一緒に実施する予定です。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。職員の掛け声でお客様と一緒に実施する予定です。洪水土砂災害や津波ハザードマップの確認を行います。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。期間中に緊急時の連絡体制の確認として、呼び出しの応答訓練を実施します。
- ・11月15日（金）火災による避難訓練にあわせて、シェイクアウト訓練に参加します。家族を含めた津波ハザードマップと避難場所・避難経路の確認を行う予定です。
- ・あおり防災ウィーク期間中に、非常災害対策実施マニュアルと連絡体制の再確認および津波襲来時の特殊車両（電源車）の避難ルートと所要時間の把握を目的とした実働訓練を実施します。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。当日は災害時の対応について話し合い、水等の備蓄の確認も行います。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に併せて、緊急時連絡体制の確認も実施します。
- ・洪水・土砂災害や津波ハザードマップの確認、避難場所・避難経路の確認、避難経路上の危険箇所の確認、備蓄物資の確認、緊急時連絡体制の確認を実施します。
- ・あおり防災ウィークの期間中の何れかで、従業員の安否確認システムの送受信訓練を実施する予定です。
- ・緊急時の体制及び災害発生時の初動の大切さを再認識し、災害復旧に迅速に対応できるよう資機材の在庫確認、工具等の点検を行います。
- ・11月14日（木）に実施する安全教育訓練に併せて、津波ハザードマップの確認、避難場所の確認、緊急時連絡体制の確認を実施します。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。避難経路の確認も行う予定です。
- ・シェイクアウト訓練に参加と呼びかけをします。また社内の危険箇所を確認し、家具の固定や飛散防止フィルムを張ります。
- ・11/15のシェイクアウト訓練に参加します。職員の掛け声で実施する予定です。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。職員の掛け声でお客様と一緒に実施する予定です。
- ・11月6日（水）防災避難訓練を実施しました。11月21日（木）構内避難経路上の危険箇所についてパトロールを実施し再確認します。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。職員の声掛けで利用者様と一緒に実施する予定です。
- ・11月15日（金）に避難場所と避難経路の確認を行います。
- ・あおり防災ウィーク期間中に備蓄物資の確認と安全訓練（防災時における対策、当社で協力できる支援内容や体制について）を実施します。
- ・五所川原市及びつがる市との防災協定に基づき、甚大な災害発生時には臨時災害放送局へ移行し、地域住民へきめ細やかな情報を届けます。その為に毎月第一金曜日に防災訓練の実施、発災時の緊急対応シフト及び対応マニュアルを整備しています。加えて複数の防災士による番組を日頃から繰り返し放送し、啓発に努めています。

（次ページへ続く）

【行政】

- ・11月15日のシェイクアウト訓練に併せて、緊急時連絡体制の確認を行うとともに、備蓄食料の確認のための試食を行います。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。管理する合同庁舎において館内放送を行い、庁舎入居者へ参加を呼びかけます。
- ・11月15日のシェイクアウト訓練に併せて、緊急時対応マニュアルの再確認も実施します。
- ・緊急時連絡体制の確認を行います。
- ・災害発生時の初動の大切さを再認識するため「東日本大震災の実体験に基づく災害初動期指揮心得（国土交通省東北地方整備局）」を課員全員が一読します。
- ・11月15日のシェイクアウト訓練に併せて、緊急時連絡体制の確認を行います。また青森防災ウィーク期間中もペット同行避難の展示を行います。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に併せて緊急時連絡体制の確認を行います。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。併せて、あおり防災ウィークの期間中、ハザードマップ、緊急時連絡体制及び備蓄品の確認等を行います。
- ・防災チャレンジの期間中に、庁舎内の防災関連備品の保管場所を、より見えやすく取り出しやすい場所に見直します。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。併せて、緊急時連絡体制の確認も実施します。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。また、これに併せて緊急時対応の確認も実施します。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に併せて、緊急時連絡体制・安否確認体制及び業務継続計画（BCP）の確認を実施します。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に併せて、BCP遂行訓練、備蓄物資の確認、課内危険個所の確認を実施します。
- ・「青森県災害対策本部運営マニュアル【上北地方支部編】」の確認を行います。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加し、現場に出ている職員の安否確認をする。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。管理する十和田合同庁舎において館内放送を行い、参加を呼びかけます。
- ・11月15日のシェイクアウト訓練に併せて、災害発生時の初動対応の確認を行います。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。館内放送で実施する予定です。
- ・11月15日に庁内放送での呼びかけにより、職員、来庁者、庁舎管理業者等でシェイクアウト訓練に参加します。また、あおり防災ウィーク期間中の11月21日に消防訓練を実施し、通報・避難手順など災害に対する対応を確認します。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。職員の掛け声で実施する予定です。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。本庁舎及び各分庁舎にて、館内放送を使用して実施いたします（お客様は参加しません。）。
- ・11月13日（水）に避難器具の操作訓練を行います。
- ・11/15（金）のシェイクアウト訓練への参加及び部内での災害対応訓練を実施します。
- ・職員がシェイクアウト訓練に参加します。併せて、当日は防火確認として、在庁する職員を対象にして消火栓の所在場所の確認や防火遮蔽扉の動作確認を予定します。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。知事や副知事、職員の安否確認を行うほか、地震から身を守るための行動をとります。
- ・11月18日（月）に地震や火災を想定した消防訓練を行います。地震発生時の身体保護や、通報・消火・避難活動の手順を確認します。

（次ページへ続く）

- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。職員のかげ声で指定管理者や利用者と一緒に実施する予定です。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。またシェイクアウト訓練に併せて、緊急時連絡体制の確認も実施します。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に併せて、青森県東方沖で発生した地震に伴い東京23区においても震度5強の地震が発生したとの想定のもと、今年度作成した「危機事態対応マニュアル」に基づき訓練を実施し、発災時の初動対応手順を確認します。
- ・あおり防災ウィークに合わせて、災害マニュアル及び災害時連絡網の再確認を実施します。
- ・「災害対策本部マニュアル（県土整備部編）」の確認を行います。

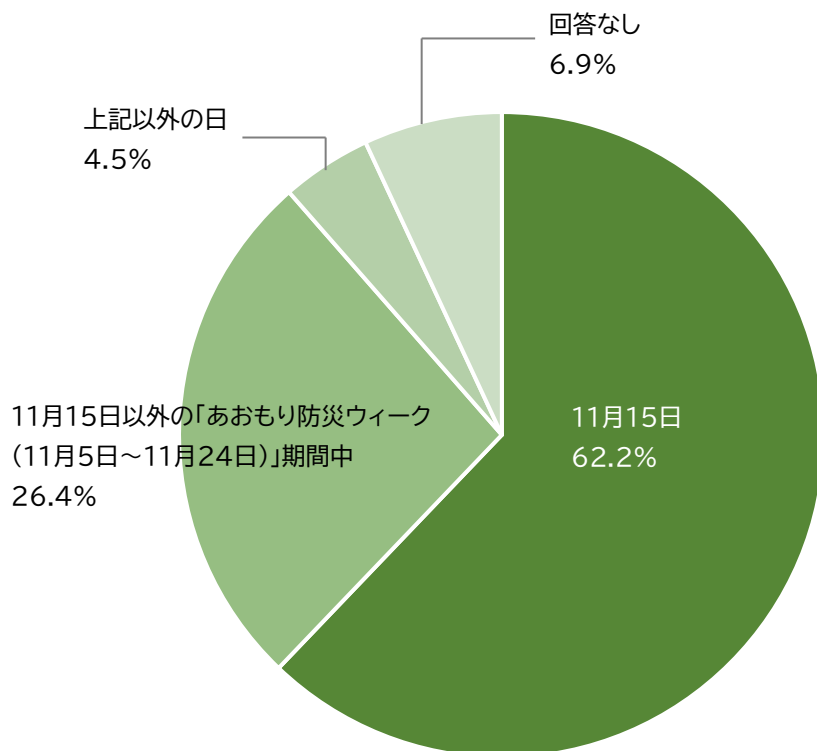
【その他】

- ・マンション居住者には事前に呼び掛け、11月15日(金)9時に、参加可能な住民で避難方法と防災意識の向上のための確認をします。
- ・会員に周知し、実施可能な会員は、シェイクアウト訓練に参加します。あわせて、防災体制のチェックを行います。避難場所、避難経路、備蓄品の確認等。
- ・大津波災害が懸念されるむつ市大畑地区で、命を守る、災害を乗り越えるチカラのために、地域のみんが繋がるための学習会を、地域の20団体とともに11月17日大畑大安寺で開催します。
- ・防災士とともに自宅や避難所での生活で用意できる食事の紹介と実践を行います。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加し、災害等非常事態発生時の連絡体制の確認も実施します。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に職員で参加します。災害用備蓄品の確認も行います。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。放課後等デイサービスのスタッフ全員で実施する予定です。防災期間中にBCPの実働訓練を実施する予定です。
- ・防災意識を高める好機とさせていただきます。
- ・海が近いので常に行動できるようにしたいと思います。
- ・11月15日（金）のシェイクアウト訓練に参加します。職員のかげ声でご利用者様と一緒に実施する予定です。

(4)参加予定日

| 参加予定日 | 登録数 | 参加人数(人) |
|---|-----|---------|
| 11月15日 | 179 | 9,232 |
| 11月15日以外の「あおり防災ウィーク (11月5日～11月24日)」期間中 | 76 | 1,061 |
| 上記以外の日 | 13 | 250 |
| 回答なし | 20 | 50 |
| 合計 | 288 | 10,593 |

登録数割合



(4)実施予定の取組(複数回答)

| 参加予定日 | 登録数 | 参加人数(人) |
|----------------------|-----|---------|
| 「シェイクアウト訓練」の実施 | 197 | 9,048 |
| 洪水・土砂災害や津波ハザードマップの確認 | 92 | 1,489 |
| 避難場所・避難経路の確認 | 108 | 3,755 |
| 避難経路上の危険個所の確認 | 56 | 1,103 |
| 避難所開設訓練 | 18 | 602 |
| 備蓄物資の確認 | 97 | 3,014 |
| 緊急時連絡体制の確認 | 83 | 2,098 |
| 業務継続計画(BCP)遂行訓練 | 15 | 351 |
| その他 | 32 | 1,923 |

登録数



【その他】

- ・毛布を使った担架搬送や食品ラップを使用した防災術・防災グッズなどを展示・実践
- ・備蓄食料の確認のための試食
- ・津波避難訓練
- ・ペット同行避難の展示
- ・大津波災害が懸念されるむつ市大畑地区で、命を守る、災害を乗り越えるチカラのために、地域みんなが繋がるための学習会を、地域の20団体とともに11月17日大畑大安寺で開催します。
- ・防災士とともに生活防災プチ体験会「サバイバル飯」を実施
- ・管理職の在宅勤務（期間中に実施する方向で調整中）
- ・災害発生時における安否確認体制の確認
- ・地震に対する家具類の転倒・移動・落下防止と対策
- ・避難用リュックの中身の点検
- ・備蓄物資の確認だけでなく実際に使用する。
- ・中学校にて防災学習会の実施
- ・災害発生時の初動対応の確認
- ・三戸町・田子町隣接消防団火災防御訓練
- ・避難器具の操作訓練の実施
- ・非常災害対策実施マニュアルの確認、特殊車両の実動避難（避難に要する時間の確認）
- ・災害時を想定した安否状況報告訓練
- ・防災ウィークのため、100均グッズで防災ポーチを作る
- ・避難行動要支援の方、要配慮者の方への対応のイメージトレーニング
- ・火災発生の通報（模擬）、消火器を使用した消火訓練
- ・警報に、どんな反応するかを観察
- ・防災機器の作動確認
- ・本校作成の『避難所運営マニュアル』の読み込み・点検
- ・発災時初動対応を整理するため、「危機事態対応マニュアル」を作成。公共交通機関が麻痺した場合を想定した徒歩移動訓練を実施し、通勤経路上の危険個所を確認（10月15日から12月13日までの間）
- ・新耐震基準のマンションの9階に住んでいるため、現実的にありそうな想定として停電対策を家族で考えたい。
- ・災害時連絡網の再確認
- ・マニュアルの再周知・再確認

▶ 実施アンケートについて

アンケートフォーム解放期間 令和6年11月1日(金)～12月31日(火)

<アンケートフォーム(1/2)>

あおもり防災チャレンジ「チャレンジ宣言」実施アンケート

「あおもり防災チャレンジ」に参加した感想やご意見などをお聞かせください。

「あおもり防災チャレンジ」に参加した方は、下記項目の入力をお願いします。
お預かりした情報は、今後の訓練計画の参考とさせていただきます。

Q1.参加団体の形態について 必須

小学校・中学校

高校

大学

専修学校・各種学校

特別支援学校

保育所・幼稚園・こども園

行政機関・公的機関

医療・福祉機関

企業

自主防災組織

協同組合

その他団体

個人・家族

Q2.実施場所について 必須

学校

職場

地域の集会所

保育所・幼稚園・こども園

外出先

その他

<アンケートフォーム(2/2)>

Q3.「チャレンジ宣言」の情報を知った手段について **必須**

※複数選択可

- 職場での案内
- ポスター・チラシ
- インターネット
- 回覧板
- 口コミ・人から聞いた
- テレビ・ラジオ
- その他

※Q3で「その他」を選択した方はご記入ください **任意**Q4.取り組んだ「チャレンジ宣言」の内容について **必須**

※複数選択可

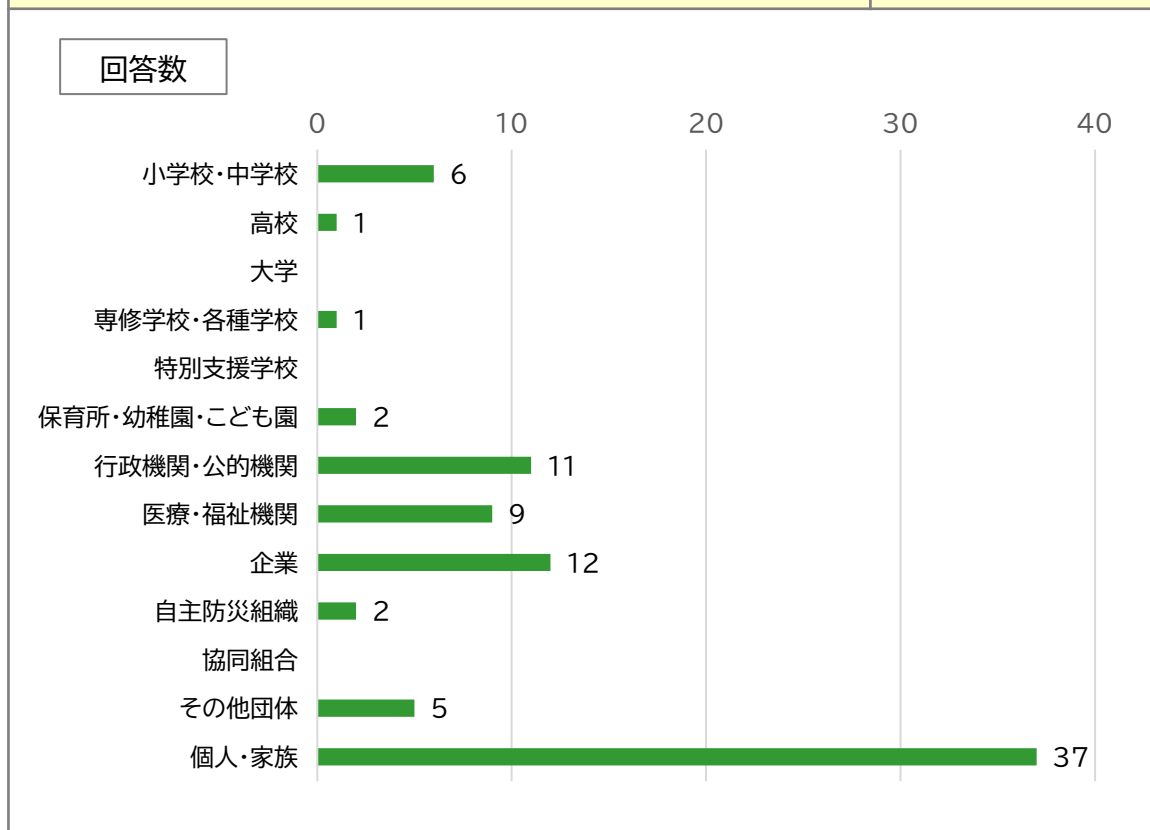
- 「シェイクアウト訓練」を実施した
- 洪水・土砂災害や津波ハザードマップを確認した
- 避難場所・避難経路を確認した
- 避難経路上の危険箇所を確認した
- 避難所開設訓練を実施(参加)した
- 備蓄物資を確認した
- 緊急時連絡体制を確認した
- 業務継続計画(BCP)遂行訓練を実施(参加)した
- その他(自由記述)

※Q4で「その他(自由記述)」を選択した方はご記入ください **任意**Q5.今回の「チャレンジ宣言」で防災について改めて気づいたこと(自由回答) **任意**Q6.今回の「チャレンジ宣言」に対する感想・意見 **任意**[確認画面へ](#)

▶ 実施アンケート集計結果

Q1. 参加団体の形態について

| 参加形態 | 回答数(件) |
|--------------|--------|
| 小学校・中学校 | 6 |
| 高校 | 1 |
| 大学 | |
| 専修学校・各種学校 | 1 |
| 特別支援学校 | |
| 保育所・幼稚園・こども園 | 2 |
| 行政機関・公的機関 | 11 |
| 医療・福祉機関 | 9 |
| 企業 | 12 |
| 自主防災組織 | 2 |
| 協同組合 | |
| その他団体 | 5 |
| 個人・家族 | 37 |
| 合計 | 86 |



Q2. 実施場所について

| 参加形態 | 回答数(件) |
|--------------|--------|
| 学校 | 9 |
| 職場 | 39 |
| 地域の集会所 | 1 |
| 保育所・幼稚園・こども園 | 3 |
| 外出先 | |
| その他 | 34 |
| 合計 | 86 |

Q3. 「チャレンジ宣言」の情報を知った手段について(複数回答)

| 参加形態 | 回答数(件) |
|------------|--------|
| 職場での案内 | 49 |
| ポスター・チラシ | 11 |
| インターネット | 22 |
| 回覧板 | |
| 口コミ・人から聞いた | 6 |
| テレビ・ラジオ | 18 |
| その他 | 11 |

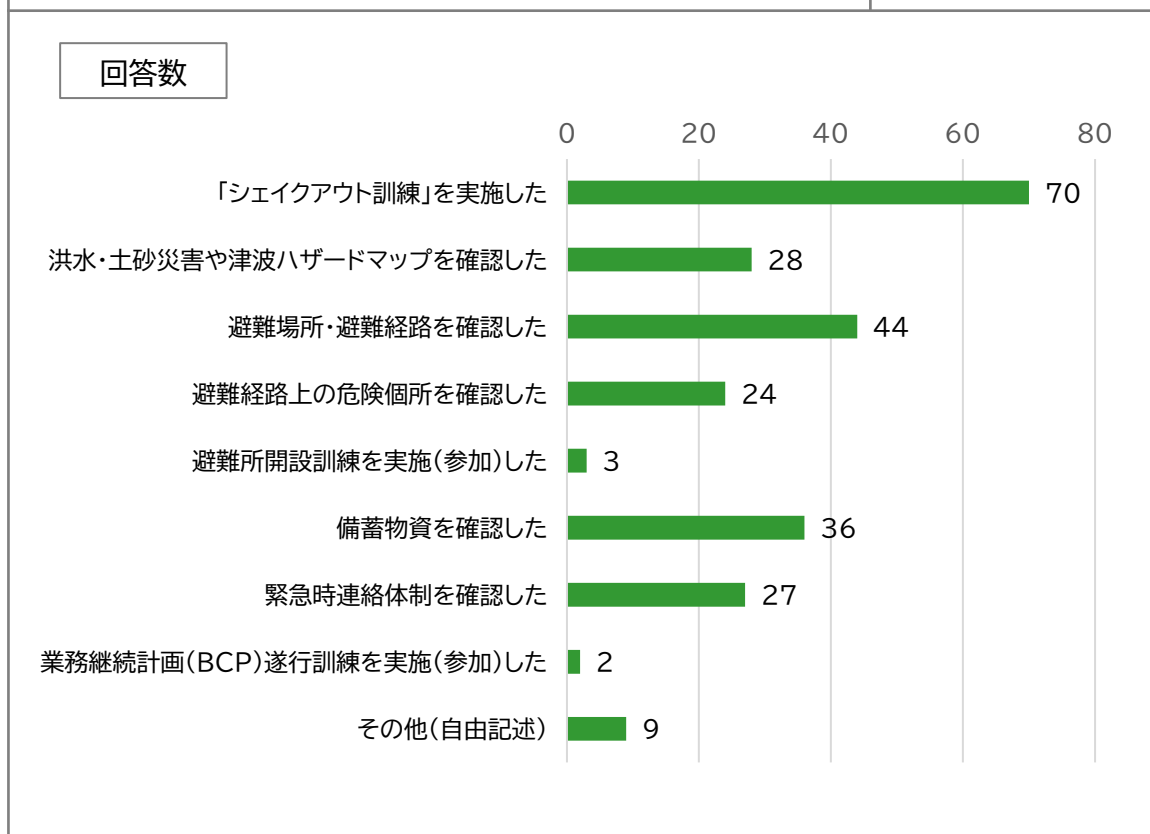
| 手段 | 回答数 |
|------------|-----|
| 職場での案内 | 49 |
| ポスター・チラシ | 11 |
| インターネット | 22 |
| 回覧板 | 0 |
| 口コミ・人から聞いた | 6 |
| テレビ・ラジオ | 18 |
| その他 | 11 |

【その他】

- ・ 通知文書
- ・ 市からのメール
- ・ 新聞広告
- ・ 平川市役所のLINE
- ・ 新聞
- ・ 弘前市防災マイスター研修会(10月27日)での資料の中にシェイクアウト訓練のパンフレットがあった。
- ・ 八戸市ほっとするメール
- ・ 防災危機管理課からの案内
- ・ 広報あおもり
- ・ 平川市教育委員会からの参加依頼

Q4. 取り組んだ「チャレンジ宣言」の内容について(複数回答)

| 参加形態 | 回答数(件) |
|--------------------------|--------|
| 「シェイクアウト訓練」を実施した | 70 |
| 洪水・土砂災害や津波ハザードマップを確認した | 28 |
| 避難場所・避難経路を確認した | 44 |
| 避難経路上の危険個所を確認した | 24 |
| 避難所開設訓練を実施(参加)した | 3 |
| 備蓄物資を確認した | 36 |
| 緊急時連絡体制を確認した | 27 |
| 業務継続計画(BCP)遂行訓練を実施(参加)した | 2 |
| その他(自由記述) | 9 |



【その他】**【行政機関・公的機関】**

- ・火災発生時の通報（模擬）、消火器を使用した消火訓練
- ・災害発生時の初動対応を確認した。

【医療・福祉機関】

- ・職場内の防災訓練として、各家庭でのシェイクアウト訓練や確認訓練を実施した。

【自主防災組織】

- ・青森県防災士会むつ支部では川内小中学校において児童、生徒、赤十字奉仕団の方々を対象に身を守る、備える、といったテーマに沿って防災研修会を実施しました。
- ・①防災機器材の作動確認、通信及び照明用具等の電池交換 ②防災備蓄品の新規購入品目の決定 ③7月7日実施の防災訓練の反省

【その他団体】

- ・避難する際の携行品リスト作成

【個人・家族】

- ・防災ポーチを作った。
- ・一斉放送が、聞き取れていない人が多かった気がします。告知すら気づいていないようです。我が親は、（そんなのやったんだあー）って感じで、親族内ですらバラバラで困惑気味です。
- ・幼稚園の地震・津波避難計画への助言を実施した。

Q5. 今回の「チャレンジ宣言」で防災について改めて気づいたこと(自由回答)

【小学校・中学校】

- ・改めて身の回りに潜む危険について考える良いきっかけとなった。学校の避難訓練では、子供の訓練が主であるため、机の下に潜るのは子供だけの場合が多いが、今回は大人も机の下に身を隠すことにした。しかし、机の下にいろいろなものが置かれてあって隠れない場所があることがわかった。我々教職員も身を守る意識を持つ（確認する）ことができた。
- ・昨日も地震があり、いつ災害があるかわからないものだ改めて感じています。学校だけでなく訓練をするのも一体感があって良いと思いました。
- ・災害は、いつ、どこで起きるのかわからないので、日常的に防災について確認することが大切であると感じました。
- ・Jアラートの音源（地震、津波、ミサイル、噴火など）を定期的に耳にして思い出しておくこと、耳にした際に即座に避難行動に移す訓練をすることの重要性。

【高校】

- ・学校行事として避難訓練は年3回実施しているが、一斉に訓練をすることで、改めて防災・減災に対する意識付けをすることが大事だと思った。

【保育所・幼稚園・こども園】

- ・毎月避難訓練をしているのですが、音声を利用した訓練は初めてで、子どもたちは、怖がらないか心配しましたが、優しい口調で聴きやすい声で良かったです。

【行政機関・公的機関】

- ・防災資機材の配置状況や避難路の支障物などを確認できた。
- ・消防訓練を通じて避難誘導を行い避難経路を確認したところ、訓練参加者が実災害時に特に注意すべきポイントに気づき関係者で共有することができた。実際に動いたから分かることばかりで、日頃の訓練による備えの重要性を再認識した。今後の計画や訓練の見直しにつなげていきたい。
- ・これまでは災害時の役割が割り当てられている職員（統括調整部要員）以外の職員が災害対応を確認する機会がなかったことに気づき、今回のように防災ウィークに合わせて全職員が災害対策マニュアルを確認する等の取組を行うことは、年に1回程度であっても定期的に行うべきだと考える。
- ・とっさに行動することの難しさを実感した。実際に机の下にもぐると、想像以上に狭く、普段から身の回りの整理をしておく必要があると感じた。マニュアルで決めていても、実際にやってみないと、安否確認をどのように連絡するかなど、細かい部分が把握できていないことを実感した。

【医療・福祉機関】

- ・「チャレンジ宣言」を行うことで、職員の団結は強まった感じはあります。震災は、日中深夜関係なく起こり得るものなので地域を巻き込むことで自身が勤めている場所できざ起こった場合の、対処法などマニュアルではわからないことの確認や地域との連携を深く考えることができました。

(次ページへ続く)

【企業】

- ・転入により避難経路を理解していない社員がいたことに気づき、全社員へ周知するきっかけとなった。
- ・改めてハザードマップや避難所を確認するきっかけになった。
- ・外に避難するタイミングや非常口の選択などその状況に応じて変わってくることも多々あると感じました。災害用の備品や避難経路の安全確保など日ごろからできることで備えが万全ではない所もあったのですぐ対応する予定です。
- ・当社は本社事務所と市内に現場がありますが、全体の防災意識を高めるために、本社の参加のみならず、現場サイドでの訓練も必要になるのではないかと改めて痛感致しました。
- ・青森県は海に面し、また河川もあることを再認識。職場近くの避難所、自宅近くの避難所を改め確認することで、社員を守り、自らを守ることに繋がった。災害備蓄品は4Fにあるが、災害時に取りに来ることが難しい場面が想定されるので、1F倉庫に移動するきっかけとなった。
- ・デスクの下に荷物を置いていたため、想像よりも狭く感じ、シェイクアウト訓練の際にはとっさに入るのに少し苦勞した。このことから、身の回りの整理整頓に気を配り、普段から災害に備える環境づくりをすることも重要だと気付いた。
- ・机の下にかがんで入るのも子どもの頃はスムーズに出来ていたけど、大人になると、とっさにはちょっと出来にくくなっているんだな!と思いました。
- ・今回のあおもり防災チャレンジを知ったのが当日朝だったため、急遽従業員へ声掛けし実施した。逆にリアリティがあってよかった。10月に防災訓練を実施したが皆スムーズに身を守る行動ができ、防災訓練の成果を確認できた。
- ・避難場所、緊急時の連絡など、皆で共有することの大切さを改めて感じました。

【自主防災組織】

- ・日頃から災害が発生したらどうするのか自分で考える、皆で話し合う、行動に移してみるといった取り組みが地域の防災力の底上げになるのだと参加者に伝えながら私達自身も改めて認識しました。
- ・今日のシェイク、アウト訓練が設定されたことで、当防災会でもまとまって活動するきっかけになりました。

【その他団体】

- ・職場内において意識が低かった地震発生の際の必要な初動について、改めて認識することができた。
- ・発災への対応について、その必要性は認識しているが、ほとんどおこなわれていない。
- ・仕事中だと机が近くないこともあり、考えさせられた。ヘルメットはあるが、やはりスペースを取るので折りたたみヘルメットがもっと普及して欲しいと思いました。
- ・防災意識を向上させる重要性
- ・「シェイクアウト訓練」を実施したところ、机の下が予想以上に狭いことに気付いたので、身を守るためには工夫が必要だと感じた。

【個人・家族】

- ・どんな人たちがどのようにやってるか知りたい。参考にしたい。
- ・災害が起こらないのが一番いいのだけれど、いざ災害が起きた時には速やかにまずは自分の身を守り、それから次の行動ができるようにしていきたいと思いました。

(次ページへ続く)

- ・もしものための訓練、確認をすることの必要性を感じ、またやって備えたいです。
- ・身体が硬いため机の下に入るのに時間がかかった。一度やることにより、発災時は効率的に出来る気がする。
- ・自身の準備している防災グッズがまだまだ不十分なんだと気づきました。
- ・格安SIMのため、緊急地震速報が来なかった。
- ・17日には所属しているボーイスカウト青森第1団においても防災チャレンジを題材として集会を行いました。その時に入内断層があることも知りました。住宅が県庁の側なので津波の事だけ心配でしたが、入内の直下型地震についても知っていかなくてはいけないと思いました。
- ・母一人でいるとき、サポートしてもらうことが必要。離れている兄弟より、ご近所の方の手助けがいる。備蓄分の期限が切れたのもあった。
- ・飲料水の備蓄量が多い事を再認識し、1人3L以上を備蓄する事にした。簡易トイレ用に、段ボールを備蓄しようと思った。
- ・防災はいつも気にしていないといけないと思いました。
- ・行政や町内内会が、もう少し関心を持ってもらいたいですね。
- ・津波が本当に起きた場合、自宅周辺では避難できる建物がない。中学校が避難先らしいが、夜間休日に入室する方法が分からない。

Q6. 今回の「チャレンジ宣言」に対する感想・意見

【小学校・中学校】

- ・県下一斉での取組はいいと思う。学校放送ではなく、町の防災無線での訓練というのが、よりリアリティがあってよかった。防災無線では、揺れの始まりはわかったが、いつ終わったのかがはっきりしなかったので、揺れている間、何らかの音が鳴っているとか、揺れが収まりましたなどのアナウンスがあればいいと思った。
- ・本校は、放送をかけて児童にお知らせしました。地域には、防災無線を通して放送が流れていました。取り組みやすい内容でしたので、良かったと思います。
- ・今回のチャレンジ宣言は、防災について学んだり、取り組んだりするためのきっかけになりました。ありがとうございました。
- ・県下一斉でやることは、防災意識を高めるうえで、非常に重要だと感じる。毎年実施してほしい。
- ・Jアラートについて4月に全生徒と職員が体育館に集い全種類の音源を聞きました。その後、生徒は教室に移動し、ミサイルに関して教室にいる場合の避難行動を訓練しました。忘れたころにこのような機会を県や自治体主導で実施していただけることはたいへん重要だと思いました。ありがとうございました。
- ・全县を挙げての取組はとてもよいと思います。県下一斉「シェイクアウト訓練」の数週間前に近隣の複数の自治体でJアラートを活用した緊急地震速報の放送訓練があり、防災無線やエリアメールが鳴りました。すべて、今回の「シェイクアウト訓練」とまとめて行えばよいのにと感じました。

【高校】

- ・全县一斉に行うことに意義があると思うので、是非継続して実施してほしいと思います。防災の日（9月1日）に防災ウィークを重ねて実施してもいいかもしれません。

【保育所・幼稚園・こども園】

- ・テレビや、ラジオなどで周知がされていたので、チャレンジしやすくて良かったです。

【行政機関・公的機関】

- ・事前にいただいたシェイクアップ訓練の音声に従い、円滑に行うことができました。ありがとうございました。
- ・県下一斉に行動することで県民の防災意識の向上が図られる、と感じた。
- ・今回のあおもり防災チャレンジの総括や参加団体の取組内容の優良事例を公表することで、県全体の防災意識の醸成につながると思われる。
- ・シェイクアウト訓練後の地震で、姿勢を低くするなど職員の行動変容が見られたので、訓練の重要性を改めて実感した。推奨する訓練内容や優良事例をもっと教えてほしい。庁内放送で地震発生を伝えるアナウンスが聞こえにくかった。また、口調が穏やかだったので、緊迫感や臨場感を持たせた方がよい。

【医療・福祉機関】

- ・普段の防災訓練と違い、リアリティが出るかと期待していましたが、防災無線はならず（近くにあるかもわからない）、訓練用の速報もかなり遅くあったので、本当に実施しているのか不安でしかありませんでした。もっと全体に浸透していざという時に地域で協力し合えるかなどの訓練が行えればと思います。

(次ページへ続く)

- ・いざという時の準備が何もなされていなかった。災害はいつ起こるかわからないため、避難所を家族と共有し、集合場所を決めることができたため少し安心できた。クリニック災害時、車で来た場合の駐車場所は、どこになるのか？各自契約駐車場？

【企業】

- ・青森市内の会社です。「11月15日金曜日、9時に訓練開始で、防災無線や緊急速報メールなどが鳴る」との記事だったので、「皆の携帯が9時頃に鳴るかも知れないが、それが訓練の合図」と伝えてましたが特に何も鳴らず、ラジオも普段通り流れていたため、社内で一声掛けて実施しました。自治体によって違うと思いますが、県下一斉であれば、各自治体での通知方法について確認しておいて貰いたいと思いました。
- ・県下一斉シェイクアウト訓練は私たちの職場がある地域では防災無線等が流れなかったか聞こえなかったため、予定していた始め方にはなりません。会社の避難訓練はいつも春に行っているのですが、異なる時期に行くことで気を付ける内容も変わることがわかりよかったです。
- ・机に隠れる→ハザードマップ確認→避難経路確認など初期対応をお互いに声掛けして落ち着いて行動する事が求められると実感致しました。
- ・メンバーの入れ替わりが激しい職場なので、定期的に今回の取組み内容を発信することが重要だと感じた。こういう機会が無いとできない、やらないではなく日頃から定期的に行うことが重要。
- ・全県統一的行われたシェイクアウト訓練は、災害の設定と取るべき行動がはっきりしており、各団体にとって防災訓練実施のハードルを下げる役割を果たしていたと思う。一方、その他任意の取り組みに関して、例えば備蓄物資の確認方法や避難場所への経路設定など、それぞれの取り組み方について例が示されていると、より実施しやすくなるのではないだろうか。
- ・いつ起こるかわからない災害。訓練を繰り返すことでいざというときの行動そして心の備えにもなると感じた。
- ・皆で話し合う機会が出来て良かったです。

【自主防災組織】

- ・宮下知事が先頭に立って防災の大切さを広報するこの取組は是非とも継続すべきです。最初は個々の小さな取組かもしれませんが、これがやがて大きな防災の輪となり、いざという時の力になります。私達防災士も頑張ります。
- ・今日の活動が県下一斉にとの事だが、一般市民への浸透がなかったように思う、アピールの方法に一考を要する。

【その他団体】

- ・防災について考えるよい機会となった。
- ・日本海溝地震がいつ起こるか分からないので定期的に意識を高めるこのような取組は必要だと感じました。
- ・県の担当者の方のご苦労されたことと思います。お疲れ様でした！

【個人・家族】

- ・中学生の長男と久しぶりになにかに取り組めたのが嬉しかった。

(次ページへ続く)

- ・放送なるのかな〜?とってたけど、ならなかったので拍子抜けした。けど実際の地震は放送なんてならないもんなど考え直した。とりあえず、高い所にあるものをどこかに移動しようかと考え中。
- ・もっと周りの人達も積極的に訓練に参加したらいいのにと考えた。
- ・弘前市西が丘町に住んでいます。Jアラートがほとんど聞こえず、窓を開けていてやっと聞こえる程度でした。実際に地震や津波があったとしたら、逃げ遅れが発生するのではないかと訓練を通して感じました。
- ・もしものための用意、食料や日用品を買ってありますがまとめて一つの場所にないため持ち運びやすいようにしておきたいです。
- ・TVで防災無線などなると聞いていて、鳴るんだなと構えてたが、私の地域では何もならなかったから、あれ?と思った。でも、自分で実践してみて、改めて家の中で対策足りないことに気づけた。
- ・地球温暖化の現状ではいつ災害が起こるかわからないので、今以上に自分の身を守る行動、防災に努めなければいけないと感じました。
- ・こういう機会があると、色んな方が防災に関心をもってくれるからいいと思いました。また、地震速報が来ない事を知れたおかげで、市のメールに登録する事ができたので、よかったです。
- ・9:00に何かスマホにアクションあるかな?とってたけど、特になかったですね〜警報のテストとか?
- ・これからもやってくれると良いですね。特に国民スポーツ大会がに向けてやってはいかがでしょうか?
- ・我が家の場合、足腰弱い母とペットが2匹いるので、自宅待機となるだろう。そのためにも、住宅で救助が来るまでの蓄え等のこまめなチェック。家がダメでも、車を利用した避難の仕方を知りたいと思った。
- ・食品、生活用品、持出品のチェックリストが大変参考になった。保管して、今後のチェックリストとして、使用する。
- ・チャレンジ宣言は、防災に対してのいいきっかけになりました。これは継続して、いつも気にかけていなければいけないと思いました。
- ・まあ、予想通りと言えば予想通りなので、普段から危機感が無いからですかね。もう3.11は過去の出来事です。
- ・今後も時折、防災について考え、備える機会を設けたいと思います。ありがとうございました。